

在学留学報告書 (1年留学)

留学の前半終了時：シート番号1, 2, 4, 7のみ記入して提出してください。

留学の後半終了時：シート番号0, 3, 5, 6, 8を記入して提出してください。

●基本情報

| | | | |
|---------------------|---------|--------|------------|
| 留学開始年度 | 2022 | 留学種別 | 交換 |
| 留学先国 | アメリカ合衆国 | 留学先大学名 | ハワイ大学ヒロ校 |
| 本学での所属学部(研究科)・学科・専攻 | | | |
| 国際関係学部 | | 国際関係学科 | |
| 出発時の年次 | 学部3年次 | | |
| 留学期間(実際の渡航期間) | 2022 | 年 8 月～ | 2023 年 5 月 |

●認定留学の方への質問

| |
|---|
| どのように留学先を選びましたか？ |
| 環境問題が多く存在するハワイで環境問題について本場で学びたかったこと、コミュニティ活動に参加することで、どのような方法で問題解決に貢献しているのかについて学びたかったため、ハワイ大学ヒロ校を選んだ。 |
| 留学先決定後、渡航までの手続きの為に留学斡旋業者を利用しましたか？ |
| <input type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用した (会社名: _____ 仲介手数料 _____ 円) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用しなかった(以下の質問には回答不要) |
| どのように業者を選定しましたか？ |
| |

●渡航までの準備

1. 入学申請

| | |
|--|---|
| 授業料は支払いましたか？ | |
| <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ(以下の質問には回答不要) | |
| 授業料総額: | 円 |
| 授業料総額のうち渡航前に支払った金額合計: | 円 |
| 支払い方法: | |

2. ビザ申請

| | |
|---|--------------------------------|
| ビザ申請先 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 在日大使館/領事館等 <input type="checkbox"/> その他(_____) | |
| <input type="checkbox"/> 現地に到着してから申請(申請の場所: _____) | |
| 必要書類 | |
| パスポート、1-20、証明写真(VISA専用のサイズ) | |
| 取得にかかった期間(申請してから要した期間) | ・取得費用 |
| 3週間 | \$350+20800円(SEVIS)+3000円(郵送料) |
| 具体的な申し込み手順(例:必要書類の準備→オンライン申請→面接予約→申請に行く→ビザ発行後受け取りに行く。) | |
| 必要書類の準備→オンライン申請→面接予約→申請しに領事館へ向かう→ビザ発行後自宅に届く | |
| ビザ申請の際の面接 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 面接有(質問の内容 / 言語等: _____ 留学の目的、期間、留学終了後何をするのか:英語 _____) | |
| <input type="checkbox"/> 面接無 | |
| ビザ申請の際の注意点やアドバイス | |
| 1-20の内容を一通り把握し、英語の質問に答えられるようにすること。インターネット申請中にすぐにログアウトが起ってしまうので、こまめに保存し、なるべく早く且つ正確に打ち込めるように、事前に準備しておくこと。 | |

| | |
|--|--|
| 現地でビザの延長申請を行いましたか？ | |
| <input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった (以下1~5には回答不要) | |
| 1.申請先 | |
| 2.申請時期 | |
| 3.必要書類 | |
| 4.具体的な手続き | |
| 5.注意点等 | |
| 3. 住居の確保 | |
| どのように住居を見つけましたか？ | |
| 大学の寮をホームページから探した | |
| 住居の申し込み手順 | |
| ハワイ大学ヒロ校のホームページより寮を検索→自分に合う寮を選択→ルームメイトの条件やミールプランを選択→申請する | |
| 渡航前に支払った費用とその内訳 | |
| 費用：690000 (半年) 円 | 内訳：Housing Charge, Housing Board Fees |
| 住居のタイプ | |
| <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 寮 (寮の名前： Hale Kehau) | |
| <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 () | |
| 部屋の種類 | <input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 () |
| ルームメイト | <input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (アメリカ人) |
| 設備 (ネット環境、共有スペース、部屋に設置されている家具等) | |
| 2つの部屋で共有のシャワー、トイレ有り。また、各自ベッドフレーム、ベッドマット、机、椅子、テーブルランプ、ウォークインクローゼットがある。 | |
| 食事 | <input type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 食事の提供があった (<input type="checkbox"/> 朝 <input checked="" type="checkbox"/> 昼 <input checked="" type="checkbox"/> 夜) <input type="checkbox"/> 外食 |
| 大学までの通学手段/通学時間 | |
| <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> ترام <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他 () | |
| 通学時間合計： 5 分 | |
| 住居を選ぶにあたってのアドバイスや申請の際のトラブル等 | |
| 寮の締め切りがとても早いので、IDなどを獲得したらなるべく早くに申請を終わらせること。また、支払い方法がオンラインだったが、なかなか複雑だったので、期限がまだ先だからといって油断しないこと。 | |

●滞在先の変更について

| | |
|--|---|
| 留学中に引っ越しや滞在先の変更は行いましたか？ | |
| <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下1~10には回答不要) | |
| 1.どのように住居を見つけましたか？ | |
| | |
| 2.住居の申し込み手順 | |
| | |
| 3. 費用の合計とその内訳 | |
| 費用： | 内訳： |
| 円 | |
| 4.住居のタイプ | |
| <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 寮 (寮の名前：) | |
| <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 () | |
| 5.部屋の種類 | <input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 6.ルームメイト | <input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 () |

●留学先での履修科目について ※全留学期間分を記入してください。

| | |
|---------------|-----------|
| 留学先で取得した単位数合計 | 32 credit |
| | ECTS |
| 本学で認定された単位数合計 | 単位 |

●履修登録の方法 (留学前半分)

| | |
|--|---|
| 履修登録の時期 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 出発前 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 | <input type="checkbox"/> 入学申請書に記入して登録 |
| <input type="checkbox"/> 到着後 | <input type="checkbox"/> その他 () |
| <input type="checkbox"/> オンラインで登録 | <input type="checkbox"/> 国際センター等の仲介 |
| | <input type="checkbox"/> その他 () |
| 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加・削除できましたか？ | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 変更できた | <input checked="" type="checkbox"/> 追加できた |
| <input checked="" type="checkbox"/> 削除できた | <input type="checkbox"/> 変更できなかった (以下の質問には回答不要) |
| 履修登録の際の注意点等があればお書きください。 | |
| 登録が早い人から決定する方式なので、期限があるからといって先に延ばさず、なるべく早く履修登録を終わらせること。また、ある授業を履修するために、事前に履修しておかないといけない授業などがあるので、履修登録の前に確認し、教授にその特定の授業を履修していなくても履修可能か、自分の学業成績表と共に確認をすると良い。 | |

※以下は留学先で履修した科目 (留学前半分) ごとに記載してください。

| | | |
|---|--------------|---|
| 1 | コース名/科目名 | HWST 111: Hawaiian 'Ohana |
| | 担当教員名 | D. Kanoelani Kawai'ae'a-Harris |
| | 時間数 (1週間当たり) | 50分 × 3 = 150分 |
| | 授業内容 | ハワイのアイデンティティやハワイの歴史等を教員のレクチャー、動画視聴、グループディスカッションなどを通じて学んだ。ハワイの歴史では、ネイティブハワイアンへの減少に関する問題や、ハワイ特有の言語が失われつつあった過去、それらを改善するためにコミュニティ、ハワイ全体などの様々なレベルでの取り組みなども学んだ。アイデンティティでは、ハワイの持続可能性や生態系保護などの取り組みについても学ぶことが出来た。 |
| | 試験・課題等 | 課題は、Reading Assignmentと、授業に関するRefraction Paperがあった。Reading assignmentは毎回約20ページのオンライン資料を読んだ。Refraction paperは650 wordsのpaperだった。Reading Assignmentに関しては、期限の2週間ほど前から知らせてくれるので、計画的に取り組むと良い。内容はハワイの家族構成や神々のこと、住居形態など、ハワイのアイデンティティに関するものが多かった。Refraction Paperでは、授業に関する動画を視聴し、重要な点と新たに学んだことなどについて自分の意見を交えながら論じるというものだった。 |
| | 感想・自己評価等 | 授業内で動画を視聴し、それを基にグループでディスカッションを何度か行った。その際に自分の意見を求められるので、日頃から自分の意見を言うように練習する必要がある。授業で視聴した動画は歴史についての動画や現在のハワイで起こっている社会問題などだったので、自分自身の知識や新たな視点を持てる良い機会になった。 |

| | | |
|---|--------------|---|
| 2 | コース名/科目名 | ELI 204: Rhetorical Writing Styles 2 |
| | 担当教員名 | Garcia Lillian |
| | 時間数 (1週間当たり) | 110分 × 2 = 220分 |
| | 授業内容 | この授業では主にアカデミックなWriting能力を身につけることを目標としたカリキュラムであった。様々な形態のエッセイを、教授が添付ファイルとして転送してくれる教材を用いながら、文法、ボキャブラリー、エッセイの構成などを学ぶことが出来る。エッセイはArgument Essay, Competitive Essay, Problem/Solution Essay, Argumentation with Counterargument Essay, Formal Essayなど多様なエッセイを生徒間でディスカッションをしたり発表したりしながら学ぶことが出来る。 |
| | 試験・課題等 | 試験は中間と期末実施され、時間内で決められたトピックのエッセイを書くという形式だった。その他にも時間内にエッセイを書くという試験が2度あったが、最終的な点数配分は中間期末に比べ低くなっている。課題は5度エッセイを書いた。課題の最終提出までに、Peer Editingで生徒間で添削し合い、その後に教授に下書きを添削してもらおうことが出来るので、自分の克服すべき点などが明確になった。また毎回の授業で教科書を元にしたワークが課外として提出される。 |
| | 感想・自己評価等 | この授業ではネイティブでない生徒が集まっているため、他の授業に比べ質問が教授に飛び交うことが多かった。また私自身も積極的に質問することが習慣になった。授業を通してアカデミックなボキャブラリーや文章構成を学ぶことができ、その他の授業のWriting Assignmentを書く際に大いに役に立ったと言える。また、積極的に参加することの大切さや、失敗し間違いに気付くことで成長することができるということに気付くことが出来たのは、私の大きな財産になると考えられる。 |

| | | |
|---|--------------|--|
| | コース名/科目名 | COM 251: Public Speaking |
| | 担当教員名 | Miyose Colby |
| | 時間数 (1週間あたり) | 50分×3=150分 |
| | 授業内容 | この授業では、Professional Public Speakingを目的とした授業で、話す内容はもちろんだが、声のトーン、視線、表情、立ち位置、ジェスチャーなど、話以外のことにも重点を置き、どのようなスピーチが聴衆を魅了させることができるのかなど、心理学などの点から分析した。また授業中に多くのスピーキングアクティビティがあり、教壇に立ち多くの生徒の前で発表することで、どのような工夫が聴衆を魅了することができるのかなどを学んだ。 |
| 3 | 試験・課題等 | 課題に関しては2回のスピーチ動画の撮影と、参考文献の要約したもの、スピーチの内容をレポートにしたもの、そしてスピーチの際に用いるものの3種類のアウトラインを各スピーチで提出する必要があった。また、各スピーチ後には自己評価のレポートと他のクラスメートへコメントすることが課題として提出された。第3回目のスピーチのみ教室内で実施された。試験はないがこの最終スピーチが最終試験という扱いだった。また3度のエキストラクレジットの機会が与えられた。 |
| | 感想・自己評価等 | この授業は私にとって最も挑戦的な授業であったと思う。なぜなら、毎回のスピーキングアクティビティでは、準備期間なしで生徒の前に立って何かを演じたり、何かについて3分間で説得させたり、ネイティブスピーカーではない私にとってはとても勇気が必要だった。しかし、これらの経験を経て挑戦することの楽しさや、自分の可能性への挑戦にやりがいを感じるようになったので、この授業は私をとて成長させてくれたと感じる。また、授業を通して多くの生徒に支えられたので、周りの人への感謝の気持ちもたくさん感じる事が出来た。 |

| | | |
|---|--------------|--|
| | コース名/科目名 | HAW 100A: Hawaiian Language in Action (Hawaiian in Motion) |
| | 担当教員名 | Kauāekeakua |
| | 時間数 (1週間あたり) | 50分×2=100分 |
| | 授業内容 | この授業では身体の動き等を用いてハワイ語を習得するという授業である。授業は全てハワイ語で行われるので、生徒は耳で聞き、声に出して反復し、身体の動きも用いながら言語を習得する。何度も反復していくうちに文法などを基礎から教えられていなくても、文の構造を理解でき、自分で文を作れるようになる。 |
| 4 | 試験・課題等 | 試験は中間、期末の2度のみであり、課題は一度もなかった。中間試験は、教授と生徒の1対1の面談で、教授が指示したことに対して行動したり、ハワイ語で聞かれたことに対して、ハワイ語で答えるという形式だった。期末試験は、教授と五人の生徒の集団面接で、指示されたことへの行動、ハワイ語での会話、人物の行動の説明をハワイ語で行った。 |
| | 感想・自己評価等 | この授業を通して、言語習得の楽しさや、反復練習の重要性などを学ぶことが出来た。また、教授との距離がとても近いので、校内で会った際にハワイ語で会話が出来たようになった。またハワイ語を学ぶことで、地域の住民の会話を少し理解出来るようになり、私の世界が広がったと感じる。授業では積極的に発言したり、授業時間外でハワイの文化について等を質問することにより、たくさんのお話を学ぶことが出来たので、自主性や何事も楽しんで実践することの重要性も学ぶことが出来た。 |

| | | |
|---|--------------|---|
| | コース名/科目名 | IS 150: Kuleana & Community |
| | 担当教員名 | Mollegaard Kirsten |
| | 時間数 (1週間あたり) | 75分×2=150分 |
| | 授業内容 | この授業ではハワイ特にヒロにまつわる伝説やハワイの文化、伝統、アイデンティティなどをフィールドワークやアクティビティなどを通じて学ぶことが出来る。実際に体験し、感じ、考えることで、ハワイで生きる人の責任 (Kuleana) を学び、コミュニティとアイデンティティなどの繋がりを学んだ。また、2度のプレゼンテーションの行う上で、資料の探し方や図書館の利用方法なども学ぶことができた。 |
| 5 | 試験・課題等 | 試験はなかったが、課題は5度のReflection Essayとそれに対する5度のRespond Essay、またプレゼンテーションに関するレポートを1度学期末に提出する必要があった。課題はフォーラムに投稿し、クラスメートの投稿に返信する形式で行われた。字数は250から300字とあまり多くなかった。また、成績の多くの点を占めるプレゼンテーションが2度あるので、課題ではないがそのプレゼンテーションには多くの時間をかけた。 |
| | 感想・自己評価等 | この授業を通じて、様々なハワイの文化やアイデンティティに触れることが出来、私の将来のことを考える良いきっかけがたくさんあった。またフィールドワークがたくさんあったので、ハワイの土地にふれあえることがとても嬉しかった。授業内ではディスカッションが多く有り自分の意見を発表する場面が何度もあったが、そのおかげで失敗を恐れることなく、むしろ自分の意見をみんなに聞いてほしいと思えるようになったので、この授業は私を大いに成長させてくれたと感じる。 |

| | | |
|---|--------------|---|
| 3 | コース名/科目名 | HWST211 Hawaiian Ethnobotany |
| | 担当教員名 | D. Kainani Kahaunaele |
| | 時間数 (1週間あたり) | 150分 |
| | 授業内容 | 本授業はハワイの植物の歴史などを学ぶと共にそれらを用いて伝統的手法でハワイの食べ物や装飾品などを作成した。実際に植物の歴史や伐採、採集の仕方なども学べる。 |
| | 試験・課題等 | 試験は各単元後に行なわれるクイズが3度行なわれた。さらに最終課題としてはレポートと授業でならった工芸品などを各自で作成し発表することだった。特徴的だったのは、授業で使用する木の実や葉を課題として採集してくることがあったことだ。 |
| | 感想・自己評価等 | この授業を通して、レストランでは食べることが出来ないような伝統的なハワイの家庭料理や、お店では買えない工芸品を手作りしたことにより、実際に日本に帰ってからも伝統料理を作ることが出来る。それに加え、本授業は様々な国籍の生徒が受講していたため、たくさん友人が出来た。 |

| | | |
|---|--------------|--|
| 4 | コース名/科目名 | HWST181 Indigenous Leadership Through Hula |
| | 担当教員名 | D. Malu Dudoit |
| | 時間数 (1週間あたり) | 150分 |
| | 授業内容 | 本授業では、伝統的な概念、ハワイ語を学びながらHulaを学ぶことが出来る。特に授業では伝統的なhulaのKahikoを学んだ。基本的なステップだけでなく、歌を歌うための発音、声の出し方、表情など細かいところまで学ぶことが出来る。 |
| | 試験・課題等 | 試験は主に実技試験で、学んだステップが出来ているか、歌の発音、声量は正しいかなどを、グループ、個人で先生の前でパフォーマンスを行なった。最終試験は、多くの生徒の前でのパフォーマンスだった。課題は、Google Classroomを用いて共有されたワークシートをしあげることが多かった。 |
| | 感想・自己評価等 | 本授業を通してHulaを学ぶだけでなく、ハワイの文化、動きの意味、大切にしている心など様々なことを学ぶことが出来とても嬉しい。さらに、多くの生徒が初心者であったので、わからないことを質問しやすい環境だった。 |

| | | |
|---|--------------|--|
| 5 | コース名/科目名 | AGEN430 Agricultural Waste Management and Resource Recycle |
| | 担当教員名 | Shihwu Sung |
| | 時間数 (1週間あたり) | 100分+150分(Lab) |
| | 授業内容 | 農業を行なう過程で排出される廃棄物をどのようにして資源に換えるのか、また雨水などの資源を各家庭でどのように再利用し、そのためにどのようなシステムが必要なのかをEngineeringの視点で研究した。 |
| | 試験・課題等 | 試験は中間、期末の2度の試験が行なわれた。授業を通して様々な計算式を学んだので、主にそれらが出題された。課題としては、行なった実験のレポートや練習問題を解き、PDFとして提出することが多かった。 |
| | 感想・自己評価等 | 本授業は私が受講した中で1番困難なものだったため、多くの資料を読み1番時間を費やした。特に困難だった点は、化学式を英語で理解しなければならなかったことだ。しかし、教授もよく支えてくれたので最後まで受講することが出来て良かったと思う。 |

●留学前半の感想について

留学先国・留学先大学・プログラム・授業・滞在先・私生活・授業以外の活動（課外活動・ボランティア・サークル等）等について、自由に書いてください。

| |
|--|
| 留学先国の特徴や雰囲気等 |
| ハワイは親切な人が多く、困っていることやなにか不安なことがある場合、自分から話しかけると大抵の人が助けてくれる。また、ハワイ大学ヒロ校に在籍している生徒は学校の課題などよりもここで過ごしている日々を満喫しているように感じる。 |
| 留学先大学の特徴や雰囲気等 |
| 教授、生徒を問わずとても優しく、フレンドリーな環境である。分からないことを授業中や授業後などに尋ねることも出来るし、生徒も授業中に積極的に発言するので、積極性がとても大事だと感じる。また、日本人学生も多数いるので困っていることなどは気軽に相談できるが、英語力を野倍したいのなら、日本人学生がいない環境を作る必要がある。 |
| 授業について |
| 先生が授業中何度も質疑応答を受けるタイミングを作ってくれるので、分からないことはその場で質問できる雰囲気である。また授業後でも質問できる。出席率や授業参加率が成績にとっても影響するので、積極的な発言などが求められる。その点が日本の大学と異なる点だと感じた。また、生徒たちも積極的な人がとても多く、納得するまで質問をしたり、分からないことを素直に「分からない、助けてほしい」と言える環境にとっても驚いた。 |
| 課外活動（ボランティア、サークル等）について |
| 課外活動としては、私は「Japanese Student Association」というハワイ大学ヒロ校の団体に所属し、日本に興味のある学生とともに日本の文化などに触れあう活動をしている。また学外では「Rotary Club of Hilo」に所属しており、様々なボランティア活動やコミュニティ活動を計画し、メンバーと共に運営している。 |
| 滞在先（寮や一人暮らし等）の環境について |
| 私の寮は多くの学生が滞在していて、毎日とても賑やかである。洗濯はコインランドリーを利用し、洗濯機、乾燥機にそれぞれ毎回\$2.5が必要である。また、洗濯機がHeに対応した洗濯機なので、現地でその機械専用の洗剤を買う必要があることに、文化の違いを感じた。寮では様々な催しが行われるので、毎日を充実して過ごしている。寮の食事も自分で選べるので、健康的な食事が出来ている。私の寮は2人で相部屋なのでパーソナルスペースはないが、多くコミュニケーションを取る中で、英語力の向上にはつながると感じている。 |
| 現地での生活 |
| 現地で感じたことは、全てにおいて物価が高いことだ。また、公共交通機関がバスしかないので、行動範囲がとても狭まってしまう。そのバスは無料で運行されているが、1時間に1本で時間通りに来ることはほとんどない。大学で自転車をレンタルして外出することもできるが、狭い道などは自動車との距離がとても近いので、注意がとても必要だ。ハワイはとても車社会で、自転車に乗っている人もほとんどいないので、日本との違いに驚いた。 |
| 留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイス |
| ハワイの人々はとても優しく、困っているときは積極的に助けてくれるので、分からないこと、困ったことがあれば自分から積極的に話しかけに行くようにする。また、この大学には色々な国、文化の人がとても多いので、多文化の理解を深めていた方が良い。基本的にハワイにいる人はマイペースな人が多いので、寛容な気持ちを持つことも大事だと思う |
| 留学前半の反省・留学後半に向けての意気込み・目標 |
| 留学前半では、主に言語の壁を感じる事が多く、あまり積極的に行動できない時期があった。したがって、来期では同じ関心のある生徒と積極的にコミュニケーションをとり、自分の見解を広げたい。また、地域の様々な活動に参加することで、自分の研究したいことを積極的に発信し、多くの人の協力のもと行動していきたい。 |

留学体験談の執筆依頼について

以下の留学体験談は、記入必須ではありませんが、留学を目指す学生にとって大変貴重な資料となります。できる限り、記載いただきますようお願いいたします。

| |
|---|
| 留学のきっかけ |
| 中学の時に会ったベネズエラ人の女性から世界の問題を教えてもらったことがきっかけで国際問題に興味を持ち始めました。さらに国際関係学部で日々世界のことを学び、インターネットや本からの情報ではなく、自分の目で世界を体験したいと思い、留学しようと決心しました。 |
| 留学先国、大学を選択した理由 |
| ハワイ大学ヒロ校を選択した理由は、自然豊かな反面多くの環境問題が潜んでいるという情報を耳にしたからです。自分の「自然豊かなハワイ」という先入観を壊し、目で現実を確認しようと思いました。また、ハワイ大学ヒロ校はアメリカで1番多種多様な国籍や民族が集まっている大学なので、多くの文化に触れたいと思ったことも理由の1つです。 |
| 留学先大学での授業・学習内容・試験・課題・について |
| 留学先での授業は、自分の専攻に関係なく好きな授業を履修することが出来ました。特徴的な授業はHawaiian Studiesの授業でハワイだから学べるハワイ文化、歴史、伝統などとても興味深いものでした。全ての授業で共通することは少人数クラスが多く、教授と生徒の距離がとても近いことが特徴です。親しい教授にはハワイ島1周旅行に連れて行ってもらえることもありました。 |
| 滞在先について |
| 在学生のほとんどが学内の寮に滞在しています。私は、Hale Kehauと呼ばれる4人1部屋の寮でした。寮主催のイベントもたくさん有り、とても楽しかったです。また、他の学生と共同生活することで、アメリカの文化を体験できたり、友人の輪が広がったりとても貴重な経験が出来たと思います |
| 留学先国や大学の雰囲気について |
| ハワイの雰囲気は、やはり「人が温かい」ということです。町にいる知らない人とでも会話をし、誰とでも「Ohana(家族)」として迎えてくれることは驚きでした。大学はアメリカの大学というよりは、太平洋諸国の大学という感じで、学校のどこからでも様々な文化の音楽や叫び声が聞こえてきて、とても賑やかです。 |
| 友人関係について |
| 友人は主に同じ授業を履修していたことをきっかけに仲良くなりました。日本語を勉強している学生とお互いの言語を教え合ったり、同じクラスの韓国からの留学生と悩みを話し合ったりと、とても楽しい交友関係を築きました。皆がマイノリティというような学校であるため、日本人であることなどに引け目を感じることはありませんでした。 |
| 苦労したことや大変だったこと |
| 苦労したことは、言語の問題で、なかなかジョークを言えず、笑いがいつまらない会話が多かったです。相手の話を聞くこと、理解すること、そして正しく意見を伝えることに集中しすぎて、面白い話が出来ていませんでした。それに気づき、面白い話をしてアメリカ人を笑顔にすることを目標に努力することで、ジェスチャーを使ってでも伝える楽しさ、一生懸命伝えることでたくさん笑顔に出来たという結果を得ることが出来ました。 |
| 授業以外の活動（課外活動・ボランティア・サークル等）について |
| ボランティアは地元のRotary Club of Hiloに参加し、ボランティア参加だけでなくボランティアの企画、運営を経験しました。ボランティアで多くの人々に出会い、学外のネットワークを気付くことが出来ました。サークルはJapanese Student Associationに所属し、花見、新年祭り、International Nightなどの様々なイベントを運営しました。 |
| 留学経験から得たこと |
| 留学から得たことは、コミュニケーション能力と自分自身を理解し受け止めることが出来るようになったことです。コミュニケーション能力は言語の壁を物怖じしない根性が身につく、自分から積極的に話しかけることが楽しくなりました。また、自分自身を理解し、「こんなこともやれば出来るんだ」や「こういうことが好きなんだ」など今まで気付かなかった長所や短所に気づき、自分自身をしっかりと受け止められるようになりました。 |

これから留学する方へのメッセージとアドバイス

留学をきっかけに、自分の好きなこと、自分の性格など、当たり前なことに改めて気づいたり、支えてくれる応援してくれる人々のありがたさや嬉しさを身にしみて感じました。不安なことなどあることは当たり前だと思います。私は留学して本当に良かったと思っています。少しでも挑戦したいこと、ワクワクする気持ちがあるのなら、勇気を持ってチャレンジしてみたいと思います。

今後の進路や目標等

今後は世界の貧富の差をなくせるように、多くの人に職を与え、食のアクセスが容易に出来る環境を途上国で確立できるような活動をしていきたいです。また、留学で学んだ「人を幸せにする、困っている人は進んで助ける」という目標をもって生きていきたいです。

・留学の様子がわかる写真(2~3枚)があれば、以下に添付してください！

